

いつからだろう？ 私たちが不都合な真実に目を背け続けるようになったのはいつからだろう？ 私たちが多様な価値観を理解しなくなってしまったのは。私たちは演劇表現を通して、「自由や民主主義が存在する社会」を目指してきました。ナショナリズムによらない自由な表現を展望することによって、描かれる未来像とは？演劇は、現代の市民社会で、どんな力を発揮できるのか？



顧みれば、演劇は言論を左右する大きな役割を担ってきました。

私たち表現者は、昨年の『演劇大学2016』に続き、本年も、今一度自分たちのコトバを見つめ直し、「自由や民主主義が存在する社会」をつくろうとする行為について、再認識したいと考えています。

そこで、現代思想・教育・民主主義の観点から、様々な分野で活躍する有識者をお招きし、

関西を拠点に活動する演劇人・表現者との対話の場を設けたいと思います。

後期

- 第4回 2018/2/7(水)「ガザ、世界の恥としての、そして、Restiamo Umani (人間であり続けること)」岡真理 (アラブ文学者。京都大学大学院人間・環境学研究科教授)
第5回 2018/2/10(土)「体験のコンプライアンス」かわら長介 (放送作家)
第6回 2018/2/18(日)「高校演劇が地域演劇を作る～青森中央高校演劇部の挑戦」畑澤聖悟 (劇作家・演出家。劇団「渡辺源四郎商店」主宰)

文化庁委託事業「平成29年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

演出家・俳優育成セミナー2017 【会場】ドーンセンター (大阪市中央区大手前1-3-49)

演劇大学 in 大阪 2017

